
「日経225オプション裁定取引 ワンクリック発注ツール」 取扱説明書

製作・著作：株式会社ルートウェイ、株式会社ツールラボ
販売会社：株式会社夢丸

著作権・利用規約

著作権に関する事項

本書および本ソフトウェアは、著作権法で保護されている著作物に該当します。

本書および本ソフトウェアの取扱については、以下の点に留意してください。

1. 本書および本ソフトウェアの著作権は、株式会社ルートウェイおよび株式会社ツールラボにあります。
2. 著者に対して事前の許可申請(事後申請は許可しない)、その申請に対する許可(申請/許可共に合意の捺印のある書面による)を得ることなく、本製品全体およびその一部をいかなるデータ蓄積手段(電波放送、出版物、印刷物、ビデオ/CD/DVD レコーダー、HDD レコーダー、電子ファイル、インターネット WEB サイト、メール配信等その他蓄積手段全般)により、複製、転載、引用、翻訳、転売等を行なうこと、また改造方法や不正な利用内容の変更方法の公開、パスワードやユーザーサイトのアドレスやログイン情報の公開を一切禁じます。

使用許諾契約に関する事項

以下の事項は、本製品を購入した法人・個人(以下、甲)と株式会社ルートウェイおよび株式会社ツールラボ(以下、乙)との間で合意した契約として甲が本商品を購入した時点で、甲は本契約に同意したこととみなします。

第1項 (本契約の目的)

本契約は、乙が著作権を有する本製品に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を許諾することを目的とします。契約者は、本契約を誠実に遵守するものとします。

第2項 (本契約の範囲)

本契約は甲と乙との間の本商品に関する一切の関係について適用されるものとします。

第3項(ソフトウェアライセンス)

本ソフトウェアは、購入者本人のみが使用できるものとします。法人の場合、利用者が2名以上の場合は、人数分のライセンスをご購入いただく必要があります。使用できる証券口座の数は、1 つまでとします。(購入者本人名義の口座に限ります)。本ソフトウェアのインストール先のパソコンの台数については、特に制限はありません(ただし、購入者所有の PC または VPS 等に限ります)。

第4項 (本書の内容及び本契約の変更)

乙は、本製品の内容及び本契約を甲の許諾を得ることなく必要に応じて変更することができるものとします。当該変更について、乙はホームページ上、もしくは乙が適当と判断する方法にて甲に通知するものとします。

第5項(知的財産権)

本製品において乙が甲に提供する一切の物品(以下「提供物」といいます。提供物には本契約、本書マニュアルなども含まれます。)に関する著作権(著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む)及び著作者人格

「日経225オプション裁定取引ワンクリック発注ツール」取扱説明書

権、特許権、商標権、並びにノウハウなどの一切の知的財産権は、当社または原権利者に帰属するものとします。

第6項（本書の終了）

乙は、乙の判断で本書の販売提供を終了することができるものとします。

第7項（契約の解除）

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合、乙は通告無しに使用許諾に関する契約事項を解除することができるものとします。また、第8項の禁止行為が見られる場合は第9項損害賠償の支払い請求ができるものとします。

第8項（禁止行為）

甲は本書によって得た情報を、事前の許可申請(事後申請は許可しない)、その申請に対する許可(申請/許可共に合意の捺印のある書面による)を得ることなく、本書およびその一部をいかなるデータ蓄積手段(電波放送、出版物、印刷物、ビデオ/CD/DVDレコーダー、HDDレコーダー、電子ファイル、インターネット WEB サイト、メール配信等その他蓄積手段全般)により、複製、転載、引用、翻訳、転売等を行なうことを一切禁じます。

本書の譲渡を固く禁じます。甲は、自らの利用においてのみ、本書の情報を使用できるものとします。

本製品(サンプル版含む)を逆アセンブル、逆コンパイル等することを禁じます。

本製品および本製品を改造したものを転売サイト等に掲載することを禁じます。

本製品の利用方法の URL 開示、ID とパスワードの漏洩など利益を損失する恐れのある行為全般を禁じます。本書およびその一部の誹謗中傷にあたる内容をいかなるデータ蓄積手段により、世間一般に公開することを一切禁じます。

第9項（損害賠償）

甲が本契約の第8項に違反した場合、甲は乙に対し、その違約金として、金 1000 万円を支払うものとします。また、甲が転売による利益を得た場合は、甲は乙に対し、全ての売り上げ開示と売り上げ利益の 100% を支払うものとします。

第10項（責任範囲）

本製品の一切の使用責任は甲にあり、それによりいかなる損害が生じたとしても、乙はそれら一切の責任を負わないものとします。また、本製品の動作不良に関し、乙は一切の責任を負わないものとします。

また、本製品の利用に際し、甲の利用環境(OS/Office/セキュリティソフト)における動作不良に関し、甲は乙の推奨利用環境以外の動作のその一切において責任は甲にあり、それによりいかなる損害が生じたとしても、乙はそれら一切の責任を負わないものとします。

目次

著作権・利用規約.....	2
はじめに.....	6
取引手法と発注ツールの概要.....	7
アービトラージ(裁定取引)とは.....	7
日経225先物とオプションのアービトラージ.....	7
合成ポジションの取り方(アービトラージの理論).....	8
アービトラージを実現するための取引環境.....	9
事前準備.....	10
対応証券会社.....	10
楽天マーケットスピード、楽天 RSS のインストール.....	11
マーケットスピードの設定.....	12
動作環境.....	13
インターネット回線.....	13
Internet Explorer の設定.....	14
その他の設定.....	15
必要資金について.....	16
システムの設定.....	17
システムの起動.....	17
マネックス証券口座番号の登録.....	17
設定画面を開く.....	19
設定の変更.....	19
設定を保存する.....	20
ログインの動作確認.....	20
注意事項.....	22
運用の流れ.....	23
システムの起動.....	23
マーケットスピードにログイン.....	24
鞅幅をチェックする.....	25
発注を行う.....	26
ポジション決済のタイミング.....	28
ポジションの決済を行う.....	29

「日経225オプション裁定取引ワンクリック発注ツール」取扱説明書

鞅幅が広がりやすいタイミング	30
使用期限について	31
サポートについて	32
サポート受付用メールアドレス	32
さいごに	33

はじめに

この度は、「日経225オプション裁定取引ワンクリック発注ツール」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。心から感謝しております。

本書では、日経225の先物とオプションを対象に、アービトラージ取引を行うためのツールの使用方法について記載しております。

ご利用の前に本書を十分にお読みいただきまして、正しく安全にご利用下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

取引手法と発注ツールの概要

アービトラージ(裁定取引)とは

市場毎の価格の歪みを利用して稼ぐことを、アービトラージ(裁定取引)といいます。また、裁定取引を行う人のことをアービトラージャーと呼びます。裁定取引は価格の差(鞘)を利益として抜くことから、サヤ取りとも呼ばれます。

このようなアービトラージは、現物の商品市場や株式市場だけでなく、先物市場や債券なども含め、さまざまな市場で取引機会があります。海外のヘッジファンドでも、アービトラージは積極的に行われています。

アービトラージに対して、通常の相場予測に頼った取引をアウトライト取引と呼びます。なぜ、ヘッジファンドはアウトライト取引よりも裁定取引を好んで行うのでしょうか？

通常の相場予測に頼った売買では、将来の相場がどちらに動くのかを予想して、買いか売りかどちらかでトレードを仕掛けます。予想がバッチリ当たって上手いけば利益も大きいのですが、当然ながら、予想が外れた場合には、損失を被ることになります。

それに対して、アービトラージは、リスクを限定して安定的に利益を上げることを第一に考えられています。

アービトラージにはさまざまな種類がありますが、一般的に、アービトラージは、「低リスクで安定的に稼げる」というのが裁定取引の最大の魅力の一つです。

日経225先物とオプションのアービトラージ

本システムでは、「日経225mini 先物」と「日経225オプション」をセットにして取引することで、アービトラージを行う手法を実現しました。

日経225は、日経平均採用225銘柄の平均株価から算出された株価指数ですが、「日経225先物」と「日経225オプション」はどちらもこの指数を元にした銘柄ですので、価格は間違いなく連動して動きます。

これら2つの銘柄の価格は連動して動きますが、全く同じではないというところにチャンスがあります。価格差(サヤ)が生じるタイミングがありますので、そこを狙って利益を抜くことができるのです。

また、2つの銘柄の価格は連動して動くため、想定していた方向と逆方向に動くことがほとんどないため、リスクは限りなく少ないということも、日経225先物とオプションの裁定取引のメリットの1つです。

合成ポジションの取り方(アービトラージの理論)

本手法では、225の先物とオプションをセットで取引しますが、どのようにして合成ポジションを取るのかを説明します。本手法では、以下の2パターンの合成ポジションの取り方があります。

[パターン1]

- ・225mini 先物買い 10 枚
- ・225オプション コール 売り 1 枚
- ・225オプション プット 買い 1 枚

[パターン2]

- ・225mini 先物売り 10 枚
- ・225オプション コール 買い 1 枚
- ・225オプション プット 売り 1 枚

パターン1では、先物の買いポジションを持つことに対して、オプションのコール売りとプット買いのポジションでヘッジします。先物買いは、日経225の価格が上昇すると利益が出て、下落すると損失になります。オプションのコール(買う権利)の売りと、プット(売る権利)の買いポジションは、日経225の価格が下落すると利益が出て、上昇すると損失になります。基本的に、「先物のポジション」と、「オプションのコールとプットの合成ポジション」の損益は、1対1に対応しますので、リスクは一定の範囲内で収まることになります。

パターン2は、パターン1の売りと買いを逆にしたものです。

本システムでは、このパターンの組み合わせで、価格差(鞘)を監視し、鞘が開いたときにポジションを取り、鞘が反対方向に戻ったときに決済することで、利益を抜くというアービトラージを行います。

アービトラージを実現するための取引環境

アービトラージは低リスクで安定的に利益を上げられる可能性の高い取引手法ですが、これまで個人投資家にとって、あまりなじみがなかったように思います。その理由の1つとしては、取引環境の問題が挙げられます。

本手法においても、日経225の先物とオプションのポジションを、常にペアで取引する必要があるため、瞬時に両方のポジションを発注処理できるようなシステムが必要になります。

また、合成ポジションのサヤ幅を分析して、利益が出るタイミングを一目で分かるようなツールも必要になります。

このあたりがアービトラージを実現するための壁となっていたのは間違いありません。本システムによって、これらの問題を解決するためのツールを提供することで、アービトラージを実現しています。

事前準備

対応証券会社

本システムを用いて取引を行う際に、
「マネックス証券」の口座(と先物・オプション口座)と、
「楽天証券」の口座が必要になります。
もし、お持ちでない場合は、口座を開設して下さい。

マネックス証券: <http://www.monex.co.jp/>

楽天証券: <https://www.rakuten-sec.co.jp/>

マネックス証券は、日経225mini 先物とオプションの取引を行うために使用します。
なお、その他の証券会社での発注には対応しておりませんのでご了承下さい。

一方、楽天証券は、マーケットスピードとRSS(RealtimeSpreadSheet)というツールを利用するために使います。マーケットスピードとRSSを使用することで、本システムがリアルタイムにレートを取得できるようになります。

楽天マーケットスピード、楽天 RSS のインストール

楽天証券のホームページから、マーケットスピードをダウンロードしてインストールを行ってください。

※マーケットスピードをインストールすると、楽天 RSS(RealtimeSpreadSheet)も同時にインストールされます。

※既にインストールされている場合はそのまま結構です

マーケットスピードのダウンロードページ:

<http://marketspeed.jp/download/>

MARKETSPEED

最新バージョン

Windows7対応

MARKETSPEED Version 10.0

東証次世代システム対応/フル板搭載
海外先物取引|対応

対応OS
Windows 2000 SP4以上
Windows XP
Windows Vista
Windows 7

分割ダウンロードはこちら

一括ダウンロード

↑ここからダウンロード!

ダウンロードの次は...
ご利用申請へ!

2回 はじめての
日経225ミニ 動画講座

毎日100万ポイント以上山分け中!
楽天ツールラボ

楽天カードローン
ご入金でもれなく1,000円進呈

対応商品

- 国内株式 (現物・信用・PTS)
- FX (13通貨ペア)
- 日経平均先物 (ラージ、ミニ)
- 海外先物
- 米国株式 (ADR、ETF含む)
- 日経平均オプション
- カバードワラント

海外先物サービス詳細について

フル板サービス詳細について

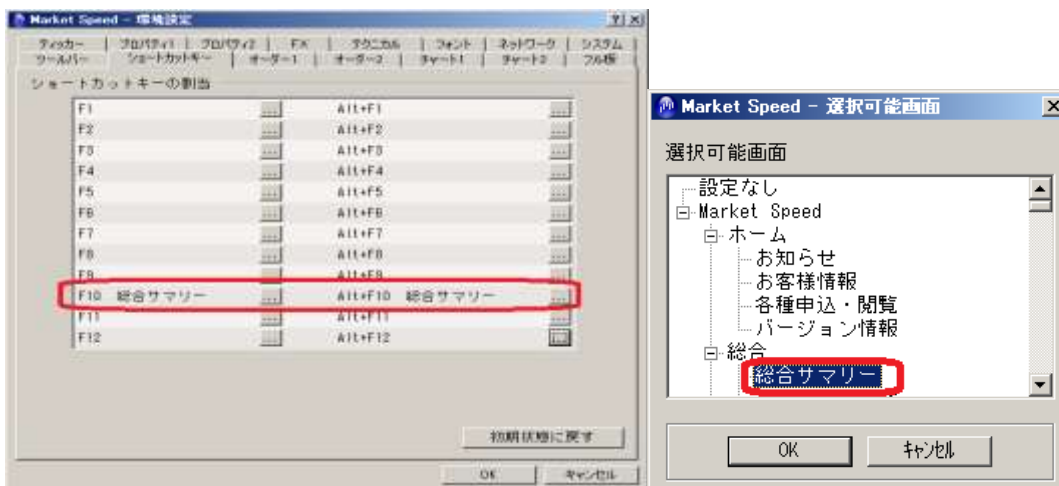
バージョンアップ時、「登録銘柄情報」「ザラバ情報」「マイページレイアウト」など原則すべての情報を引き継ぎますが、PCの状態が不安定な場合、一部の情報を引き継ぎがない可能性があります。あらかじめご了承ください。またバージョンアップの際は、「登録銘柄情報」「ザラバ情報」のバックアップ(エクスポート)を取ることをおすすめします。

マーケットスピードの設定

マーケットスピードを起動して、「環境設定」をクリックします。



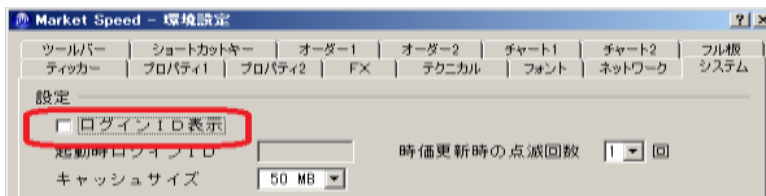
「環境設定」画面の「ショートカットキー」を開き、「Alt+F10」の右のボタンをクリックします。「選択可能画面」から、「総合」の下「総合サマリー」を選択して、「OK」をクリックします。



同様に、「F10」をクリックして、「総合サマリー」を選択して「OK」を押します。

左側の画面のように「F10」と「Alt+F10」に「総合サマリー」が表示されていれば OK です。

次に、「システム」タブを開き、「ログイン ID 表示」のチェックが付いていたら外して下さい。



「OK」を押して、設定完了です。

動作環境

対応 OS: Windows 7, Vista, XP, 2000 のいずれか

※Mac では動作しませんので Windows の VPS 等をお使いください。

CPU: 1.8 GHz 以上 (デュアルコア以上を推奨)

メモリ: 1.0GB 以上

HDD: 10GB 以上の空き容量

本システムでは、高速な処理と、安定した動作が必要とされますので、なるべくハイスペックの PC でお使いいただくことをお勧めします

インターネット回線

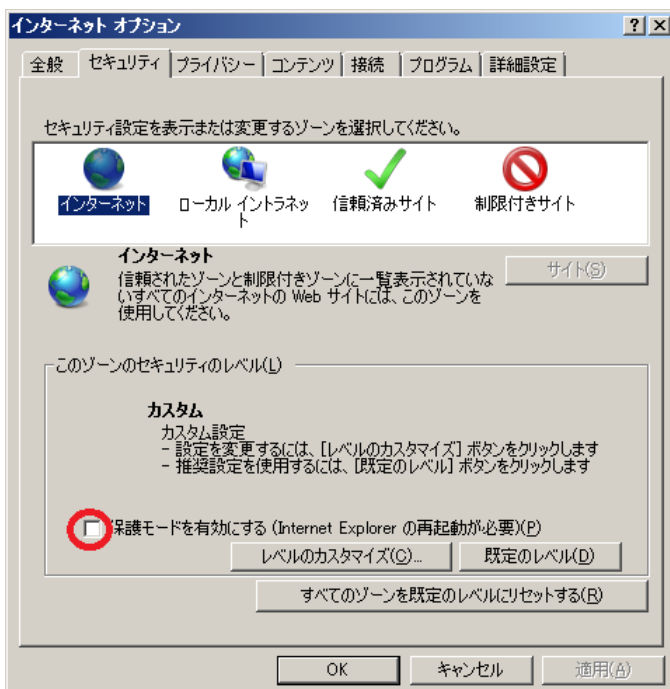
使用するインターネット回線は、ADSL 以上のブロードバンド環境を推奨します。できれば光回線のほうが良いです。

また、PC とルータとの接続は、有線 LAN ケーブルでの接続を推奨します。これは、無線 LAN の場合、不定期に接続が切れることがあるため、発注処理に時間がかかったり、正常に発注処理が完了できなかったりする可能性があるためです。

Internet Explorer の設定

本システムでは、マネックス証券に発注を行うようになっていますが、Internet Explorer の設定によっては、発注処理の途中で確認ダイアログが表示されて、発注処理が途中で中断されてしまう可能性がありますので、設定を変更しておく必要があります。

設定手順は、「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット」から、「インターネットオプション」を開きます。



「インターネットオプション」の「セキュリティ」タブの「保護モードを有効にする」のチェックを外します。「OK」をクリックして画面を閉じます。

※なお、「Windows XP」以前をお使いの場合、または、「Internet Explorer 6」以前をお使いの場合は、この項目がありませんので、設定の必要はありません。

その他の設定

➤ ウイルス対策ソフトが各ソフトの動作を妨げないようにしてください。

ウイルス対策ソフトが動作していると、楽天 RSS が動作しない場合があります。この場合は、ウイルス対策ソフトを無効にするかアンインストールして楽天 RSS が正しく動作するようになしてください。

また、ウイルス対策ソフトの自動スキャンが、場中に行われないようにしてください。

➤ 他のソフトは起動しないで下さい。

他のソフトを起動していると、動作が重くなって発注が遅れたり、不具合が発生したりする可能性があります。

➤ 省電力機能の設定で自動的にスタンバイにならないようにしてください。

特にノート PC の場合、パソコンを長時間操作しないと、自動的にスタンバイになってしまふことがありますので、省電力機能を切って、操作していない間も PC が止まらないようにしてください。

➤ Windows Update で自動的に再起動しないように設定してください。

Windows Update (または Microsoft Update) の設定で、指定した時間に自動的に更新する設定になっている場合、パソコンが勝手に再起動してしまうことがありますので、コントロールパネルの「自動更新」の設定を、手動更新する設定に変更してください。

➤ スクリーンセーバーを OFF にしてください。

スクリーンセーバーが起動すると、PC が重くなったりすることがありますので、スクリーンセーバーの設定で、PC を長時間操作しなくてもスクリーンセーバーが起動しないようにしてください。

必要資金について

日経225mini先物 10枚と、日経225オプションのプットとコールを1枚ずつ、計3つのポジションを保有するために必要な証拠金を口座に入れておく必要があります。

なお、これらの必要証拠金額は、SPAN 証拠金の変動により変化しますので、多少余裕を持って多めに資金を入れておいたほうが良いです。必要証拠金の変化に合わせてその都度、資金を調整してください。

※2011年5月現在では、225mini10枚で約60万円、オプションは種類によって必要証拠金が変わりますが120万円程度あればほぼ売買可能で、合わせて180万円程度が目安ということになります。)

システムの設定

事前準備ができたなら、次はシステムのインストールを行い、システムを起動して各種設定を行います。

システムの起動

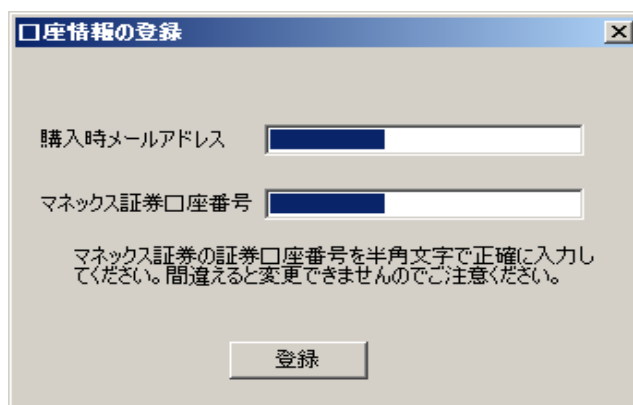
ダウンロードした本商品ファイル(zip ファイル)を解凍すると、「プログラムファイル」フォルダの中に「setup.exe」というファイルが入っていますので、このファイルをダブルクリックして実行して下さい。
(以下のようなアイコンのファイルです)



このファイルを実行すると、プログラムのインストールが行われます。
次回以降は、スタートメニューの「すべてのプログラム」⇒「(株)ルートウェイ&(株)ツールラボ」⇒「日経225オプション裁定取引 ワンクリック発注ツール」から起動してください。

マネックス証券口座番号の登録

本システムの初回起動時に、メールアドレスと口座番号の入力画面が表示されます。



口座情報の登録

購入時メールアドレス

マネックス証券口座番号

マネックス証券の証券口座番号を半角文字で正確に入力してください。間違えると変更できませんのでご注意ください。

登録

メールアドレス欄には**本商品の購入時メールアドレスを半角文字で入力してください。**

不正コピー防止のため、購入時に記入されたメールアドレスでのみ使用が可能となっております。

口座番号欄には、お使いになるマネックス証券の口座番号を入力してください。

※お使いになる口座番号は、1つの口座に限定させていただいております。一度登録した口座番号は変更ができませんのでご注意ください。もし間違えて登録してしまった場合は、サポートまでご連絡下さいますようお願い致します。

メールアドレスと口座番号を入力して、「登録」ボタンを押すと、オンライン認証が行われ、正規の購入者のメールアドレスであれば、そのままシステムが起動し、以下の画面（メイン画面）が表示されます。



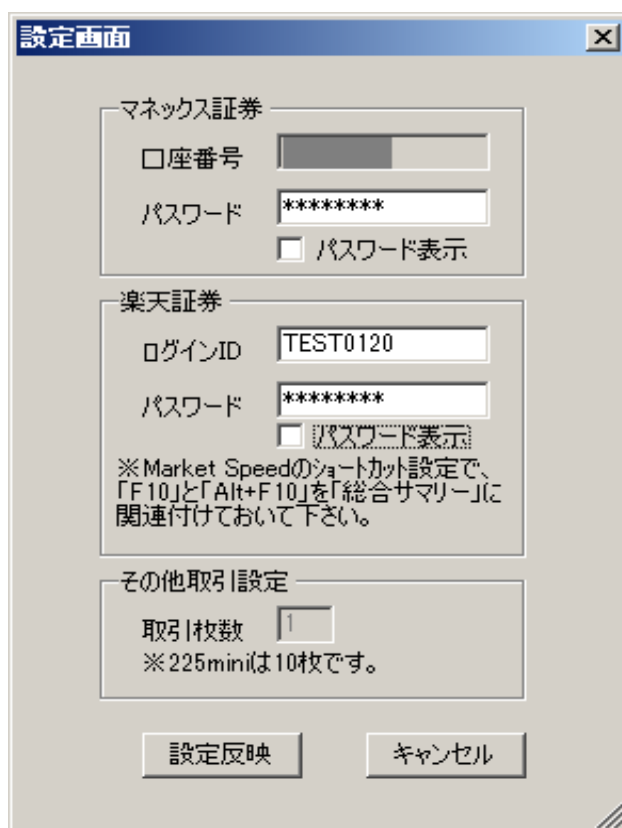
また、メールアドレスの入力間違いの場合は、以下の画面が表示され、「OK」を押すと、システムが終了します。もう一度、システムを起動しなおして、正しいメールアドレスを入力してください。

※なお、購入してからすぐにお使いになられる場合、弊社データベースにメールアドレスの登録が完了していない都合で、口座の登録操作が正しくできない可能性があります。この場合は、少し時間を置いてから再度お試し下さい。（購入後2日以上経過しても使用できない場合はサポート宛にご連絡下さい。）



設定画面を開く

メイン画面が表示されたら、「設定画面の表示」ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。



設定の変更

設定画面の項目を入力していきます。
以下に設定項目の説明を記載します。

➤ マネックス証券「口座番号」「パスワード」

マネックス証券のパスワードを設定します。
(口座番号は最初に登録したものから変更できません。)

➤ **楽天証券「ログインID」「パスワード」**

楽天証券のログイン用IDとパスワードを入力します。

ツール上からマーケットスピードを操作してログインするために使用します。

➤ **その他取引設定**

取引枚数は、日経225miniが10枚、オプションはそれぞれ1枚固定となっております。

設定を保存する

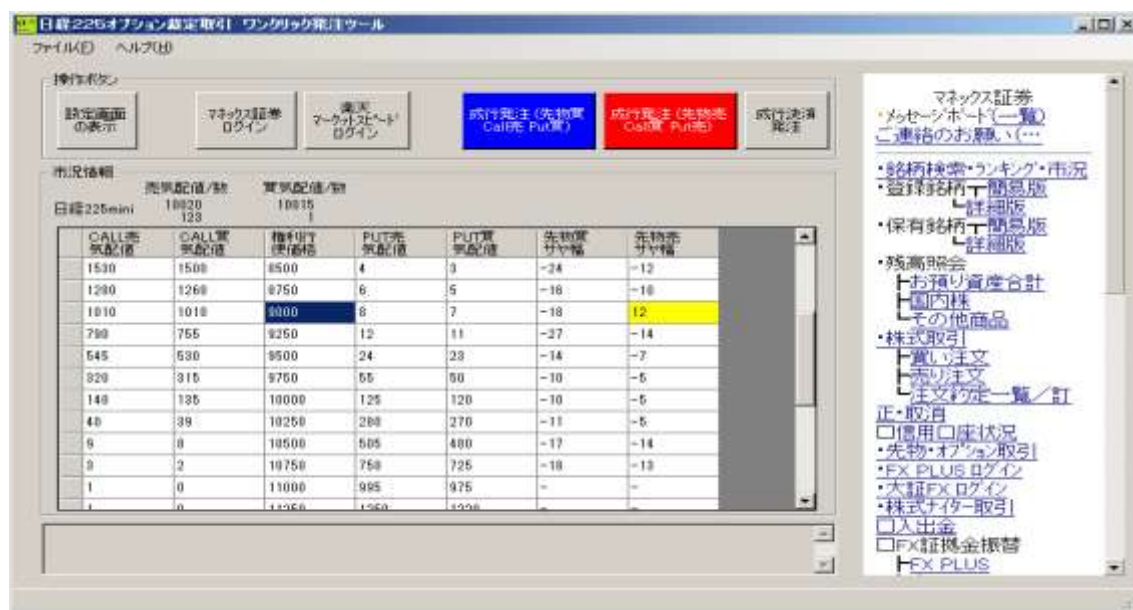
設定を変更したら、「設定反映」ボタンをクリックすると、設定が保存されます。

設定を保存したくない場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

ログインの動作確認

設定が完了したら、「操作ボタン」の枠内に「マネックス証券ログイン」というボタンがありますので、このボタンをクリックしてください。

右側の枠に、マネックス証券の操作画面が表示されていますが、この画面がログイン画面から、ログイン後のメインページに切り替われば、マネックス証券のパスワード設定は正しくできていることが確認できます。



次に、手動モードの枠内の「楽天マーケットスピードログイン」ボタンをクリックします。

※事前にマーケットスピードとRSS(RealtimeSpreadSheet)を起動しておいてください。

「楽天マーケットスピードログイン」ボタンをクリックすると、マーケットスピードの画面に切り替わり、何度かログイン処理が行われます。

この間はマウスやキーボードの操作を行わないで下さい。

最終的に、以下のように右上に「ログアウト」、下に「ONLINE」と表示されていれば、ログインできている状態です。



ここまでできれば、ログイン関連の動作確認は終了です。

その後、本システムを表示して、右上の「×」ボタンをクリックして、システムを一旦終了させてください。終了すると設定が自動で保存されます。

注意事項

本システムで使用する証券口座と同じ口座で、本システム以外の別のポジションを取らないで下さい。決済の際の誤動作の原因となります。

取引の結果をメールや取引画面で確認するようにしてください。稀に約定しないことがありますので、その際は手動で対処してください。注文は FAK (Fill And Kill) 注文を使用しておりますが、流動性が低い場合等で注文の一部が約定しない可能性がありますので、ご注意ください。

証拠金が足りない場合、トレードに失敗することがありますので、口座資金には余裕を持たせておいてください。

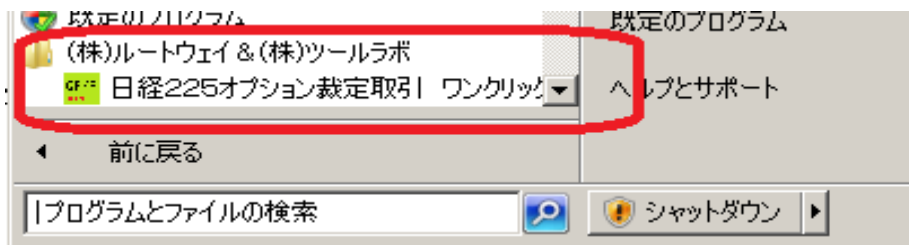
運用の流れ

システムの起動

- 1) まず、楽天証券マーケットスピードと、楽天 RSS を起動します。
デスクトップのショートカットをダブルクリックするか、
スタートメニューの「MarketSpeed」⇒「MarketSpeed」、および、
スタートメニューの「MarketSpeed」⇒「RealtimeSpreadSheet」から起動します。



- 2) 次に、本システムを起動します。
デスクトップのショートカットをダブルクリックするか、
スタートメニューの「すべてのプログラム」⇒「(株)ルートウェイ&(株)ツールラボ」⇒「日経225オプション裁定取引 ワンクリック発注ツール」から起動します。



マーケットスピードにログイン

「操作ボタン」パネルの枠内に、「楽天マーケットスピードログイン」ボタンがあります。このボタンを押すと、マーケットスピードが画面の前面に表示されて、ログインが行われます。ログインに成功すると、価格情報が取得できるようになり、市況情報の枠内の価格が動き出します。

※「楽天マーケットスピードログイン」ボタンをクリックする前に、あらかじめマーケットスピードを起動しておいてください。

※上手くログインできない場合は、手動でログインしていただいても構いません。

※稀にマーケットスピードが切断されることがありますが、その場合はもう一度ログインボタンをクリックしてログインしてください。



鞘幅をチェックする

市況情報の枠内に、鞘幅が表示されています(下図の赤枠部分)。

この部分を見て、鞘幅が開いた時を狙って、発注を行います。

鞘幅が開いたときには、鞘幅の数字の背景色が黄色になりますので、一目で分かるようになっています。

下図の場合は、9000円の「先物売サヤ幅」の部分が黄色になっています。この場合は、先物売り・Call 買い(9000円)・Put 売り(9000円)の合成ポジションを取ると利益になるということです。

市況情報						
	売気配値/数	買気配値/数	鞘幅			
日経225mini	10420 123	10415 ?				
CALL売気配値	CALL買気配値	権利行使価格	PUT売気配値	PUT買気配値	先物買サヤ幅	先物売サヤ幅
1530	1500	8500	4	3	-24	-12
1290	1260	8750	6	5	-16	-10
1010	1010	9000	8	7	-18	12
790	755	9250	12	11	-27	-14
545	530	9500	24	23	-14	-7
320	315	9750	55	50	-10	-5
140	135	10000	125	120	-10	-5
40	39	10250	280	270	-11	-5
9	8	10500	505	480	-17	-14
2	2	10750	750	725	-18	-13
1	0	11000	995	975	-	-
1	0	11250	1250	1225	-	-

発注を行う

前のページで説明したようなサヤ取りチャンスになったら、発注を行います。

下図の場合は、9000 円の「先物売サヤ幅」の部分が黄色になっていますので、先物売り・Call 買い(9000 円)・Put 売り(9000 円)の合成ポジションを取りにいきます。

発注方法は、

- 1) 9000 円の行のどこかをクリック(クリックするとマスが選択されて青くなります)します。
 ※9000 円の行を選択することで、購入するオプションの銘柄(価格)を選択する、という意味になっています。下図では「9000」の部分が青く選択されていますが、同じ行内であれば、他の部分(例えば、黄色い「12」となっているマス)を選択しても OK です。
- 2) 次に、「成行発注(先物売 Call 買 Put 売)」ボタンをクリックします。
 ※ボタンをクリックすると右側のマネックス証券画面が自動で切り替わり、発注処理が行われます。3つのポジションをワンクリックで取ることができます。
 ※「サヤ幅の左側が黄色かったら、左の青いボタンをクリック」「サヤ幅の右側が黄色かったら、右の赤いボタンをクリック」というように覚えておく分かりやすいです。



もう1つの例を紹介します。

下図の場合は、10000 円の「先物買サヤ幅」の部分が黄色になっていますので、先物買い・Call 売り(10000 円)・Put 買い(10000 円)の合成ポジションを取りにいきます。

発注方法は、

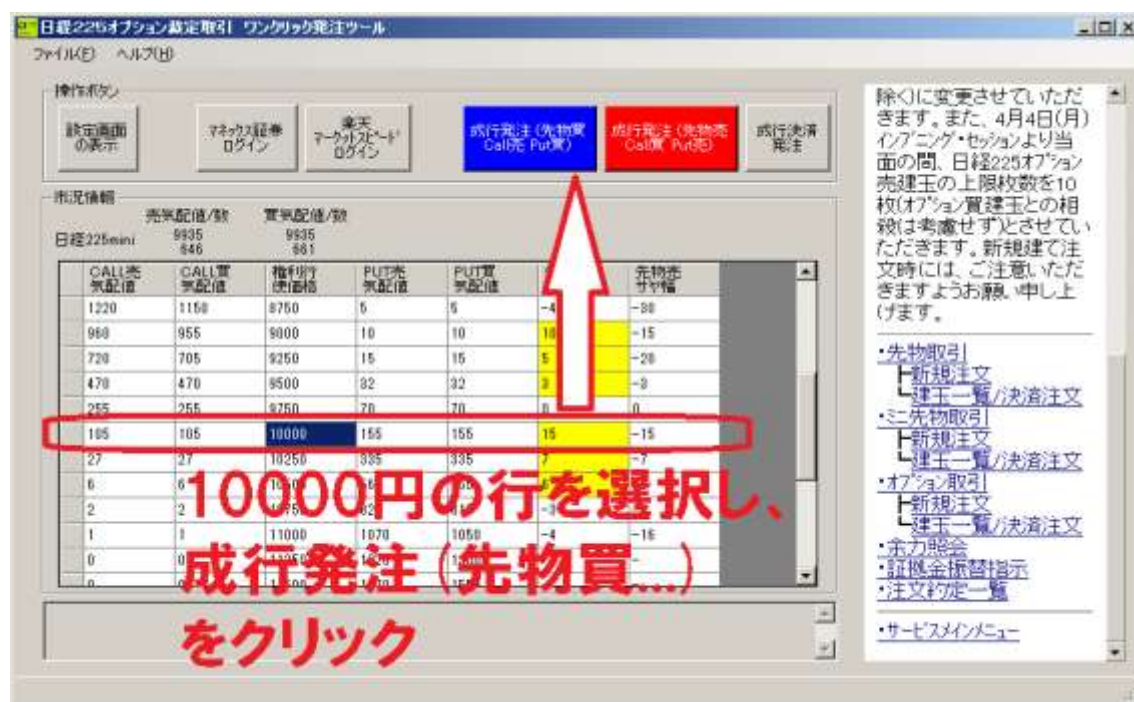
1) 10000 円の行のどこかをクリック(クリックするとマスが選択されて青くなります)します。

※10000 円の行を選択することで、購入するオプションの銘柄(価格)を選択する、という意味になっています。下図では「10000」の部分が青く選択されていますが、同じ行内であれば、他の部分(例えば、黄色い「15」となっているマス)を選択しても OK です。

2) 次に、「成行発注(先物買 Call 売 Put 買)」ボタンをクリックします。

※ボタンをクリックすると右側のマネック証券画面が自動で切り替わり、発注処理が行われます。3つのポジションをワンクリックで取ることができます。

※「サヤ幅の左側が黄色かったら、左の青いボタンをクリック」「サヤ幅の右側が黄色かったら、右の赤いボタンをクリック」というように覚えておくと分かりやすいです。



ポジション決済のタイミング

ポジションをとった後は、鞘幅が戻った時を狙ってポジションの決済を行います。

決済を行うタイミングは、基本的にエントリーの時と同様です。

- 例1)先物買い・9000円 Call 売り・9000円 Put 買いの合成ポジションを保有している場合(9000円を選択して青いボタンで発注した場合)

エントリーの際は、左側の鞘(先物買いサヤ幅)がプラス(黄色)になったことを確認して、発注ボタンを押したことになりますが、
決済する際は、9000円の行の、右側の鞘(先物売りサヤ幅)が0以上になったことを確認して、決済発注ボタンを押します。

- 例2)先物売り・9500円 Call 買い・9500円 Put 売りの合成ポジションを保有している場合(9500円を選択して赤いボタンで発注した場合)

エントリーの際は、右側の鞘(先物売りサヤ幅)がプラス(黄色)になったことを確認して、発注ボタンを押したことになりますが、
決済する際は、9500円の行の、左側の鞘(先物買いサヤ幅)が0以上になったことを確認して、決済発注ボタンを押します。

エントリーの際のサヤ幅と、決済の際のサヤ幅を合計したものが、往復での利益になります。

なお、SQまで決済のチャンスがなければ、SQ値で強制決済されて、エントリーの際のプラス分の利益を得ることができません。

ポジションの決済を行う

決済の操作は、「操作ボタン」パネルの右側にある「成行決済発注」ボタンをクリックすることで行います。

※「成行決済発注」ボタンをクリックすると、画面右側のマネックス証券画面が自動で切り替わって決済注文が発注されます。

※決済の時は、取引対象のオプション価格の行を選択する必要はありません。(選択されていても無視されます。)

※ポジションを持っていないときに「成行決済発注」ボタンをクリックすると、エラーメッセージが出ます。

鞘幅が広がりやすいタイミング

寄り付き時(プレオープニングの終了間際:8時59分、16時29分に発注)と、引け(プレクロージングの終了間際:15時14分、23時29分に発注)は、売り気配と買い気配の幅が狭くなり、スリッページが発生しないため、利幅が発生しやすいため、狙い目となります。

上記のプレオープニングの終了間際、プレクロージングの終了間際の4秒前ぐらいに発注するとほぼ約定します。発注が早すぎると鞘幅が変動する可能性があり、遅すぎると約定しない可能性もありますので注意が必要です。

また、寄り付き直後にもサヤ幅がプラスになることがありますが、この場合は、滑ってマイナスになることが多いため避けたほうがよいかもしれません。

その他、値動きが大きい時や荒れ相場ときはザラ場中にも、鞘幅が開く可能性が高くなりますので、チャンスとなります。一般的に大きな動きの少ない日のザラ場中は、チャンスは少ないものの、荒れ相場では、時々チャンスがありますのでウォッチしておくといでしょう。

それから1ヶ月単位で見た場合、オプションの時間的価値が最大となるSQ日直後などは鞘幅が開く可能性が高くなります。

使用期限について

当該システムはお申し込み登録後からの使用期限を設けています。
期限は購入時のプランによって異なりますので購入ページの説明または、購入時のメールをご確認下さい。

使用期限を設ける理由として、本来は高額なシステムを、期限付きライセンス形式にすることで、お求め安いお値段で提供させていただいております。

また、永久使用ではなく期間を設けて更新する形にことで、システムによるマーケットインパクトをある程度把握しながら、修正や新システムに活かして行きたいという考えからです。

使用期限以降、継続して使用されない方がいらっしゃれば、その分のマーケットインパクトは考慮する必要がなくなりますので代わりに他の方へ使用いただくことも可能になると思います。

今後、バージョンアップをすることがあると思いますが、その場合でも使用期間内は無償で更新してご利用いただけます。

使用期限までご利用いただいて、次の期限までのご利用を継続されるか中止されるかをご判断いただければ幸いです。

サポートについて

サポート受付用メールアドレス

本商品に関するお問い合わせは、
サポート担当宛 (225op_oneclick@toollabo.jp) まで、
お気軽にご連絡ください。
※開発担当の青島、または、伊藤が対応させていただきます。

今回のサポートは、システムの設定や不具合などに関するメールサポートでの対応のみとなります。お電話でのサポートは受けつけておりませんのでご了承下さい。

また、サポートの期間につきましては、本システムの購入後60日間を基本としますが、それ以降も常識の範囲で誠意をもって対応致します。

ただし、今回のサポートにつきましては投資顧問契約ではございませんので、投資に関する助言などは法律上一切行うことができないということです。
よって、そのようなメールにはお答えできませんことを予めご了承ください。

全てのメールに誠心誠意回答したいという気持ちはありますが、少人数でサポートしていることもあり、すぐに回答できないこともあります。もしメールを送っても返ってこない場合、48時間以内を目安に回答させていただいておりますので、それ以上経過しても反応が無い場合は再送をお願いします。

特に、お名前を名乗られないような非礼なメールや要点を得ない意味不明なメール、ご自身で少し調べればわかるようなご質問のメール等は、回答できないこともありますのでご了承ください。

さいごに

最後までお読みいただきありがとうございました。

「日経225オプション裁定取引 ワンクリック発注ツール」についての説明は以上です。

お気付きの点などございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

225op_oneclick@toollabo.jp

(日経225オプション裁定取引 ワンクリック発注ツール サポート宛)

本ツールを提供することで、ほんの少しばかりでも貴方の資産運用のお手伝いできれば幸いです。貴方にすべての良きことが雪崩のごとくおきます。

「日経225オプション裁定取引 ワンクリック発注ツール」

製作・著作：株式会社ルートウェイ、株式会社ツールラボ

販売会社：株式会社夢丸

〒070-8027 北海道旭川市台場東1丁目390番地の12

TEL 0166-73-5238 FAX 0166-73-5239

MAIL: infox@yumemaru.jp

※ツールに関するお問い合わせは、こちらのアドレスではなく、
上記サポート宛にお願いします。